

関 税 政

第 37 号

発行所：関東信越税理士政治連盟
〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町4-333-13 OLSビル14F
TEL 048 (643) 1661 FAX 048 (643) 1475

発行責任者：会長 井部 俊一
編集責任者：広報委員長 柳 澤 彰
【<http://www.kanzeisei.jp/>】

第48回衆議院議員総選挙において 関税政推薦候補者32人が当選!!



額賀福志郎候補（自民党 茨城 2 区）に推薦状を手渡す日税政・関税政・茨城税政連役員

11・8 国会一斉陳情、税制改正要望の理解を求める



高鳥修一衆議院議員（自民党・新潟6区 右から3人目）
に要望書を手渡す、関税政・新潟税政連役員
（衆議院第1議員会館）



枝野幸男衆議院議員（立憲民主党・埼玉5区 左から
3人目）に要望書を手渡す日税政・関税政・埼玉税政連
役員
（衆議院第1議員会館）



第48回衆議院議員総選挙を振り返って

国対委員長

岸 生 子

平成29年10月10日に公示された第48回衆議院議員総選挙は、10月22日に投開票が行われた。関東信越税理士政治連盟（以下「当連盟」という）が推薦した議員39人のうち32人が当選した（詳細は次ページに記載）。

年内解散のうわさはあったものの、急な解散・選挙となり、税理士による後援会（以下、「後援会」という）をはじめ、会員の皆様からの多大な協力に心から感謝したい。後援会の役員が当連盟や日税政の推薦状を届け、ポスターに証紙を貼る作業やハガキの宛名書き、電話による投票依頼などを行い、大勢の会員が出陣式や立会演説会に参加している。

9月25日に安倍首相が会見し、正式に衆議院解散を表明した。今回の解散を「国難突破解散」と名付け、その理由は北朝鮮に対し強いリーダーシップで臨んでいこうということ、消費税の10%への引き上げで増える税収を少子高齢化対策や社会保障の充実に回したいと話した。9月28日の臨時国会の冒頭で解散と述べて、選挙戦が始まった。実際の解散の理由は、加計学園の追及を逃れるためという説もあるが、首相の真意はわからない。

9月28日には日本税理士政治連盟の大会が開催されたが、「今は、衆議院議員は一人もいま

せん」「前衆議院議員です」というあいさつが続き、選挙戦突入感がいっぱいだった。小池百合子氏率いる「希望の党」が自民党の票をどこまで奪うか、野党共闘が組めるかと一時は注目を集めた。大会にも、「小池さん来るよ・・・」とうわさが流れ、「本当？」という声のなか、若狭前衆議院議員が登場した。

その後、小池氏の「排除」発言があり、民進党の衆議院議員が「希望の党」「立憲民主党」「無所属」と分裂し、選挙結果を見ると自民党の圧勝となった。当連盟で推薦した候補者は、自民党が31人（内当選28人）、希望の党が6人（内当選2人）、立憲民主党1人（当選）、無所属1人（当選）となっている。推薦状作成時には民進党所属だったが、その後希望の党となった議員4人についても、後援会が応援したが残念な結果となった。

当連盟では、税理士会の意見に耳を傾け、一緒に税制を考え発言などをしてくれる議員、税理士である議員を推薦し、選挙の応援をしてきた。これから12月に税制改正大綱が出るまでの期間は、情報収集や国会議員への陳情を行っていく予定だ。後援会でも地元での陳情をお願いしている。税理士が一丸となって動けば、大きな力になる。

目 次

衆議院議員総選挙を振り返って……	2
関税政推薦候補者選挙結果……	3
会議報告……	4

県税政連だより……	5
総選挙PHOTO特集……	8
陳情活動PHOTO特集……	9

～第48回衆議院議員総選挙における関税政推薦候補者の結果～

関税政では、平成29年10月2日、衆議院議員候補者推薦審査会を開催し、下記表39人の推薦候補者（日税政への推薦も同様）を決定した。同年10月22日の投開票において下記の32人が当選した。

敬称略

	氏 名	選挙区	政党（前）	結果
1	田 所 嘉 徳	茨城 1 区	自 民 党	
2	福 島 伸 享	茨城 1 区	希 望 の 党	-
3	額 賀 福志郎	茨城 2 区	自 民 党	
4	葉 梨 康 弘	茨城 3 区	自 民 党	
5	梶 山 弘 志	茨城 4 区	自 民 党	
6	船 田 元	栃木 1 区	自 民 党	
7	西 川 公 也	栃木 2 区	自 民 党	-
8	篠 和 生	栃木 3 区	自 民 党	
9	渡 辺 美由紀	栃木 3 区	希 望 の 党	-
10	佐 藤 勉	栃木 4 区	自 民 党	
11	茂 木 敏 充	栃木 5 区	自 民 党	
12	井 野 俊 郎	群馬 2 区	自 民 党	
13	石 関 貴 史	群馬 2 区	希 望 の 党	-
14	笹 川 博 義	群馬 3 区	自 民 党	
15	福 田 達 夫	群馬 4 区	自 民 党	
16	小 渕 優 子	群馬 5 区	自 民 党	
17	村 井 英 樹	埼玉 1 区	自 民 党	
18	武 正 公 一	埼玉 1 区	希 望 の 党	-
19	新 藤 義 孝	埼玉 2 区	自 民 党	
20	黄川田 仁 志	埼玉 3 区	自 民 党	

	氏 名	選挙区	政党（前）	結果
21	枝 野 幸 男	埼玉 5 区	立憲民主党	
22	大 島 敦	埼玉 6 区	希 望 の 党	
23	小宮山 泰 子	埼玉 7 区	希 望 の 党	比
24	柴 山 昌 彦	埼玉 8 区	自 民 党	
25	山 口 泰 明	埼玉 10 区	自 民 党	
26	小 泉 龍 司	埼玉 11 区	無 所 属	
27	野 中 厚	埼玉 12 区	自 民 党	
28	土 屋 品 子	埼玉 13 区	自 民 党	
29	三ツ林 裕 巳	埼玉 14 区	自 民 党	
30	石 崎 徹	新潟 1 区	自 民 党	比
31	細 田 健 一	新潟 2 区	自 民 党	比
32	斎 藤 洋 明	新潟 3 区	自 民 党	比
33	金 子 めぐみ	新潟 4 区	自 民 党	-
34	泉 田 裕 彦	新潟 5 区	自 民 党	
35	高 鳥 修 一	新潟 6 区	自 民 党	
36	務 台 俊 介	長野 2 区	自 民 党	比
37	後 藤 茂 之	長野 4 区	自 民 党	
38	宮 下 一 郎	長野 5 区	自 民 党	
39	若 林 健 太	比例北陸信越	自 民 党	-

※ = 当選 - = 当選に至らず 比 = 比例当選

編集モローグ

広報委員長 柳澤 彰

「関税政」は、原則5月10月の年2回の発行を基本としていますが、今回第48回衆議院議員総選挙の運びとなり、この選挙結果及び取り組みについて、ご報告するため第37号を発行しました。安倍総理が解散を表明し、当初与党圧勝かとの予想からスタートした選挙戦は、二転三転する状況を経て、与党の安定多数という結果に落ち着きました。この期間を通して感じたことは、政治とは

まさに生の人間が行うことであり信念・政治姿勢が問われるのだなということでした。私たちは、政治色を持たず、「税理士党」として納税者に求められる税制改正のため、初心に帰って活動することの重要性を新たにしました。今回の選挙で新たな構図が起りつつあるなか、後援会活動も慎重な判断が必要とされることも生じると思われますが積極的な支援の手助けとなるよう会報発行に取り組みたいと思います。今後も重要・最新な情報を収集し迅速にお伝えできるよう努めてまいります。

平成30年度税制改正要望の一 斉陳情を行う



広報委員長
柳 澤 彰

関税政は、11月8日（水）午後12時から衆議院第二議員会館にて各県税政連会長・各県税政連幹事長の合同会議を開催し、会議の冒頭柴山昌彦衆議院議員（自民党埼玉8区）より、当選御礼とあいさつをいただいた。

会議では初めに、井部俊一会長から10月22日におこなわれた第48回衆議院議員総選挙における協力へのお礼が述べられ、本日は各県税政連の会長を中心にしっかりと陳情をおこなっていただきたいとの要望が述べられた。続いて横沢正法対策特別委員長から平成30年度税制改正に関する要望のうち一つでも多く成果が出るよう陳情をしていただきたいとのあいさつがあり議題に入った。

議題では、はじめに高野善生副会長から第48回衆議院議員総選挙における関税政推薦候補者の結果報告があり、39人の推薦候補者中32人の議員が当選されたとの報告があった。次に陳情の方法について、日税政・日税連が作成した31項目の平成30年度税制改正要望書及び概要を持参し、特に最重要建議・要望項目の5項目のうち①消費税の単一税率及び請求書等保存方式の維持について②中小企業に対する繰越欠損金控除制限及び外形標準課税の不適用について③償却資産に係る固定資産税の抜本見直しについての3項目を特に重点的に陳情する旨申し合わせ、各県選出の衆参国會議員に対し要望項目の実現に向け、理解を求めた。

また陳情終了後の懇親会では、陳情の成果や議員の反応が話題となり、閉会のあいさつにおいて大石敬副会長から今日の陳情では額賀福志郎衆議院議員（自民党茨城2区）、野田毅衆議院議員（自民党熊本2区）にも直接陳情がおこなえ、これは日頃の精力的な地元後援会活動のたまものであるとの謝意と今後のさらなる活発な後援会活動への期待が述べられ終了した。



後援会会長連絡会議を開催



後援会対策委員長
小 池 英 之

関税政は、9月22日（金）午後2時さいたま市大宮区の税理士国保組合会館3階会議室において後援会会長連絡会議を開催した。

関税政下の40後援会中29の後援会から会長・幹事長ら29人が出席し、関税政からは関東信越税理士会法対策特別委員長を含め24人が出席した。

古川和夫副幹事長の司会で始まり、井部俊一会長及び横沢正法対策特別委員長からあいさつがあった。

会議は井部会長が議長となり進められ、はじめに出席した後援会代表者全員から後援会の近況報告と意見交換が行われた後、次のような説明があった。①後援会対策委員長が、後援会活動の報告方法と今回の陳情についての日程（10月23日から11月10日までとする）とその報告について。②秋山典久政策委員長から、平成30年度税制改正要望項目について。③岸生子国対委員長より効果的な陳情方法について。④大石副会長から選挙2法の研修（「積極的でありながらも違反への配慮をもって活動していただきたい」）について。

午後4時50分高野善生副会長の閉会の言葉で長時間にわたるすべての日程を終了した。



各県税政連だより

茨城県税理士政治連盟

幹事長

坂 場 信 夫

1. 第48回衆議院議員総選挙について

安倍晋三首相が、平成29年 9 月25日衆議院解散を表明後、茨税政は直ちに正副幹事長会、推薦審査会をそれぞれ書面審査により開催した。茨税政推薦者並びに日税政・関税政推薦依頼候補者を決定し、10月 2 日開催の関税政推薦審査会において日税政・関税政推薦者が決定された。

10月10日公示、同月22日投開票という選挙期間となった。公示日の前週より 5 人の推薦候補者へ茨税政の役員及び各後援会会長等が選挙事務所へ出向いて推薦状を手交した。

茨税政・関税政推薦候補者（税理士による後援会有）

田所 嘉徳（自民党） 福島 伸享（希望の党）
額賀福志郎（自民党） 葉梨 康弘（自民党）
梶山 弘志（自民党）

2. 陳情活動（税制改正要望）での国会議員との接触状況について

平成29年10月23日から11月10日を陳情期間として、地元陳情を優先して、後援会のある議員には地元事務所において、茨税政の役員及び各後援会会長等が議員本人に直接税制改正についての陳情をした。その後、11月 8 日永田町の衆参両議院会館において、県選出国会議員12人に対して「平成30年税制改正要望」に関する国会陳情を行った。本人不在の議員に対しては秘書等に趣旨を説明し資料を渡した。

今回の陳情は、平成31年10月に消費税率10%に実施されるのと同時に軽減税率制度が導入されるので、区分経理等による事業者の事務負担が増加する等々の理由から単一税率の維持と中小法人に対する繰越欠損金控除制限及び外形標準課税の不適用について、重点的に陳情した。

栃木県税理士政治連盟

幹事長

小 池 英 之

1. 第48回衆議院議員総選挙

不意に明らかになった10月22日の解散・総選挙。栃税政は9月27日に書面審議による推薦審査会を開催し、現職6人を優先にした候補者案を上程し賛成多数で承認された。その後10月に入り我々の仲間である税理士が立候補を表明したため急遽10月4日に再度の書面審議による推薦審査会を開催し、追加推薦が承認された。公示日前の10月3日から10月7日の間に税理士による後援会の協力を得ながら7人（内1人は栃税政推薦）の推薦候補者への陣中見舞いを行い、推薦状を手交した。

選挙期間中は、各陣営の集会等への出席要請には出来る限り参加するよう努め、後援会の会員を対象とした候補者を励ます会等を行った。

今回の選挙に関しては、事前に細部に亘る公職選挙法及び政治資金規正法の研修を行っていなかったこともあり、様々な場面で対応に苦慮した。

栃税政からの推薦候補者とその結果は3頁のとおりである。

2. 税制改正要望での国会議員との接触状況

平成29年11月 8 日、永田町の衆参両議員会館において県選出国会議員 8 名に対して「平成30年度税制改正要望」に関する国会陳情を行った。

船田元議員、福田昭夫議員、築和生議員、上野通子議員の4議員については、最重要建議・要望項目である消費税における単一税率及び請求書等保存方式の維持・所得控除の抜本的見直し・中小法人に対する繰越欠損金控除制限及び外形標準課税の不適用・償却資産に係る固定資産税の抜本的見直し・個人事業者番号の導入について直接本人に陳情した。

茂木敏充議員、高橋克法議員については政策担当秘書に同じく陳情内容を説明し資料を手渡した。

群馬県税理士政治連盟

幹事長

入 沢 紀 行

1. 第48回衆議院議員総選挙について

平成29年9月25日、安倍首相は首相官邸にて記者会見を行い、『再来年（平成31年10月）の消費税増税分の財源使途変更』・『北朝鮮問題への圧力路線』について、国民の信を問うとし、衆議院解散を表明し、9月28日第194回国会の本会議において衆議院が解散され「国難突破解散」の名のもと、第48回衆議院議員総選挙は、10月10日公示・22日投開票という選挙期間での実施となった。

群税政は、群税政規約に則り、推薦候補者を書面審査により次の通り決定した。

群税政・関税政推薦候補者

井野 俊郎（自民党・群馬2区）
石関 貴史（希望の党・群馬2区）
笹川 博義（自民党・群馬3区）
福田 達夫（自民党・群馬4区）
小渕 優子（自民党・群馬5区）

群税政推薦候補者

尾身 朝子（自民党・群馬1区）

2. 陳情活動（税制改正要望）での国会議員との接触について

平成29年11月8日衆議院議員会館並びに参議院議員会館において県選出国会議員への陳情活動を行った。陳情内容は、日税政の平成30年度税制に関する要望31項目の中の次の最重要項目5項目を重点的に要望した。

1. 消費税における単一税率及び請求書等保存方式の維持について
2. 所得控除の抜本的見直しについて
3. 中小法人に対する繰越欠損金控除制度及び外形標準課税の不適用について
4. 償却資産に係る固定資産税の抜本的見直しについて
5. 個人事業者番号の導入について

埼玉県税理士政治連盟

幹事長

秋 山 典 久

1. 第48回衆議院議員総選挙について

平成29年9月25日、安倍首相は衆議院解散を表明し、9月28日衆議院が解散され、第48回衆議院総選挙は、10月10日公示・22日投開票という選挙期間での実施となった。

埼税政は、本連盟規約に則り、推薦候補者を書面審査により13人の候補者を決定し、直ちに関税政に報告した。候補者名及び選挙結果は、本会報の3ページに掲載された表と同様のためここでは割愛させていただきたい。

2. 陳情活動（税制改正要望）について

平成29年11月8日衆議院議員会館並びに参議院議員会館において、本連盟役員及び後援会の役員とともに県選出国会議員に対し重点項目を中心に陳情活動を行った結果、多くの議員に理解を求めることができた。

新潟県税理士政治連盟

幹事長

古 川 和 夫

1. 第48回衆議院議員総選挙

10月22日、第48回衆議院議員総選挙の投開票が行われた。新潟県選挙区は昨年6月の参議院選挙、その後10月に行われた新潟県知事選挙、いずれも与党系候補が野党系候補に敗れるという結果であった。今回の衆議院選挙でも与党系候補が苦戦し、全6小選挙区のうち4小選挙区で野党系候補が勝利した。全国的には野党の混乱により自民党の圧勝という結果であったが、新潟県は野党統一が功を奏した結果となった。

新税政では現職国会議員を優先し、10人を推薦した。結果は下記の通りである。

長野県税理士政治連盟

選挙区	立候補者名	結果
1区	石崎 徹（自民・前）	比例当選
1区	西村智奈美（立憲・前）	当選
2区	細田 健一（自民・前）	比例当選
2区	鷺尾英一郎（無所・前）	当選
3区	斎藤 洋明（自民・前）	比例当選
3区	黒岩 宇洋（無所・前）	当選
4区	金子 恵美（自民・前）	
4区	菊田真紀子（無所・前）	当選
5区	泉田 裕彦（自民・新）	当選
6区	高鳥 修一（自民・前）	当選

幹事長

横 沢 正

1. 第48回衆議院議員総選挙について

第48回衆議院選挙に際し、長野県税理士政治連盟は、務台俊介氏（2区）、後藤茂之氏（4区）、宮下一郎氏（5区）、若林健太氏（北信越ブロック比例）の4氏（いずれも自民党）を推薦候補者とした。選挙期間中は各後援会が応援演説からハガキのあて名書きや証紙の糊付けに至るまで、選挙応援を行った。務台候補は激戦の中、比例復活を果たし、後藤・宮下両候補は当選、若林候補は名簿登載順位が現職の次となっていたため議席獲得はなかった。

2. 陳情活動について

11月8日に行われた一斉陳情において、長野県税理士政治連盟は、後援会のある4名の国会議員全員（務台議員、後藤議員、宮下議員以上自民党衆議院、羽田民進党参議院議員）と直接面会し、陳情（税制改正要望）を行った。

消費税については、今まで何度も陳情を行ってきた経緯もあり、我々の要望については、4名の議員全員が十分に承知されていた。他に、務台議員とは、議員が総務省出身ということもあり、償却資産については特に関心を持ってもらった。自民党税調メンバーの後藤議員とは、事業承継税制について意見交換・要望を行い、税調のおおむねのスケジュールも聞くことができた。宮下議員とは地方経済活性化の視点から法人税制並びに所得控除について意見交換、要望を行った。羽田議員とは、消費税について我々の要望を全面的に支持いただき、子育ての視点から所得控除の見直しについて意見交換・要望を行った。

2. 平成30年度税制改正要望で陳情

衆議院選挙直後の10月下旬から11月上旬にかけて、各後援会幹部や支局長を中心として国会議員に対する一斉に陳情を行った。

消費税率の10%への引き上げ、複数税率導入が迫るなか、次の5点について重点的に要望した。

- ① 消費税の単一税率を維持すること
- ② 請求書等保存方式の維持
- ③ 免税事業者への配慮等
- ④ 外形標準課税は中小企業に導入しないこと
- ⑤ 欠損金の控除限度額を一律に縮減しないこと

長島忠美前議員お別れの会

8月18日に66歳で突然死去した長島忠美前議員（自民 新潟5区）を追悼する「お別れの会」が10月30日長岡市のホテルニューオータニ長岡で執り行われ、1,000人を超える人々が参列した。新税政及び「税理士による長島忠美後援会」からも役員が参列した。



第48回 衆議院総選挙PHOTO特集

～税政連・後援会役員による推薦状の手交～



茨城1区 田所嘉徳候補



茨城1区 福島伸享候補



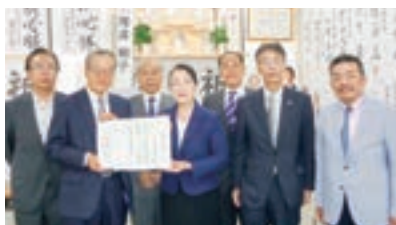
茨城3区 葉梨康弘候補



茨城4区 梶山弘志候補事務所



栃木5区 茂木敏充候補事務所



群馬1区 尾身朝子候補



群馬2区 井野俊郎候補事務所



群馬2区 石関貴史候補事務所



群馬3区 笹川博義候補事務所



群馬4区 福田達夫候補事務所



群馬5区 小淵優子候補事務所



埼玉13区 土屋品子候補事務所



新潟1区 石崎徹候補



新潟2区 細田健一候補事務所



新潟4区 金子めぐみ候補事務所



長野2区 務台俊介候補



長野4区 後藤茂之候補



長野5区 宮下一郎候補



比例北陸信越 若林健太候補

《平成30年度税制改正要望》
一斉／地元
陳情活動
Photo 特集



茨城1区 田所嘉徳議員



茨城2区 額賀福志郎議員



茨城3区 葉梨康弘議員



茨城4区 梶山弘志議員



茨城5区 石川昭政議員



比例北関東 永岡桂子議員



比例北関東 青山大人議員



比例北関東 浅野哲議員



茨城選挙区 岡田広議員



茨城選挙区 藤田幸久議員



栃木1区 船田元議員



栃木2区 福田昭夫議員



栃木3区 篠和生議員



栃木選挙区 上野通子議員



群馬1区 尾身朝子議員



群馬2区 井野俊郎議員

《平成30年度税制改正要望》
一斉／地元
陳情活動
Photo 特集



群馬4区 福田達夫議員



群馬5区 小淵優子議員



群馬選挙区 山本一太議員



比例北関東 中曽根康隆議員



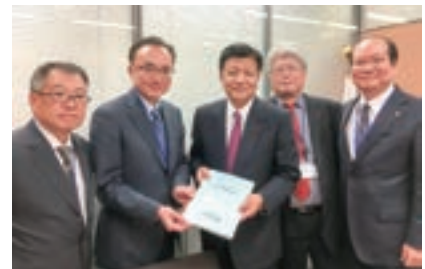
比例南関東 上野宏史議員



埼玉1区 村井英樹議員



埼玉2区 新藤義孝議員



埼玉2区 新藤義孝議員



埼玉3区 黄川田仁志議員



埼玉6区 大島敦議員



比例北関東 小宮山泰子議員



比例北関東 小宮山泰子議員



埼玉8区 柴山昌彦議員



埼玉10区 山口泰明議員



埼玉10区 山口泰明議員



埼玉11区 小泉龍司議員



埼玉13区 土屋品子議員

《平成30年度税制改正要望》
一斉／地元
陳情活動
Photo 特集



埼玉14区 ミツ林裕巳議員



比例北関東 高木錬太郎議員



埼玉選挙区 矢倉克夫議員



比例北陸信越 石崎徹議員



新潟1区 西村智奈美議員



比例北陸信越 細田健一議員



比例北陸信越 斎藤洋明議員



比例北陸信越 斎藤洋明議員



新潟5区 泉田裕彦議員



新潟6区 高鳥修一議員



比例代表 水落敏栄議員



比例北陸信越 務台俊介議員



長野4区 後藤茂之議員



長野4区 後藤茂之議員



長野5区 宮下一郎議員



長野5区 宮下一郎議員



長野選挙区 羽田雄一郎議員

関東信越税理士協同組合連合会 事業のご案内

本会は、各県税理士協同組合及び組合員（以下「所属員」という。）の相互扶助の精神に基づき、所属員のために必要な共同事業を行い、もって所属員の自主的な経済活動を促進し、かつ、その経済的地位の向上を図ることを目的に、中小企業等協同組合法に基づき設立し運営されています。

主な事業活動は次のとおりです。他にも各県税理士協同組合では、それぞれ特色ある事業を活発に推進しておりますので是非ご利用ください。

◆購買及び斡旋事業

税理士報酬領収書の販売、図書（路線価図他）の注文及び販売、
税理士専用カード、税理士報酬自動支払制度、
機密書類リサイクルボックスの斡旋

◆教育情報事業

セミナーの企画、開催

◆福祉共済事業

グループ保険共済制度（本連合会独自の団体定期保険）、退職金共済制度、
ぜいりし年金制度、関東信越税協連企業年金基金
有限会社関税サービス（団体傷害疾病保険、ゴルフ保険、自動車保険）

◆福利厚生事業

あんしん財団事業（事業総合傷害保険、労働災害防止、福利厚生）
中小企業退職金共済制度、結婚紹介サービス、ゴルフ場提携利用（特約企業提携料金）

◆広報事業

会報「関東信越税理士界」の『関税協のページ』に活動状況、事業概要等の情報を掲載
ホームページによるタイムリーな情報の提供

◆全国税理士共栄会関東信越地区会事業

全税共「VIP 大型総合保障制度」「全税共年金制度」の推進

◆関東信越税協連共済会事業

総合事業保障プラン、税理士向け報酬自動振替システム、関与先向け集金代行サービス
M & A の仲介

ご利用
ください



お問い合わせ

関東信越税理士協同組合連合会

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町 4-333-13 O L S ビル 14 階
電話 048-650-0333 FAX048-650-0335 <http://www.kanzeikyo.or.jp/>